
2016年度 決算ハイライト

2017年5月12日
三機工業株式会社

業績サマリー（計画実績対比）

2016年度は中期経営計画「Century 2025 “Phase1”」の初年度

指標	計画値 (A) (Phase1計画値)	実績 (B)	差 (B-A)
売上高	1,850 億円	1,685 億円	▲165 億円
売上総利益 (率)	220 億円 (11.9%)	225 億円 (13.4%)	+5 億円 (+1.5pt)
営業利益 (率)	65 億円 (3.5%)	60 億円 (3.6%)	▲5 億円 (+0.1pt)
経常利益 (率)	70 億円 (3.8%)	68 億円 (4.1%)	▲2 億円 (+0.3pt)

利益率は軒並み計画値を上回る結果

総括

○前年度比では減収減益も、業績は高水準を維持

○収益力改善。売上総利益率は過去10年で最高

⇒「質を高める」” Century 2025” Phase1の成果が出ている

○グループ会社の成長は堅実に推移

○採用活動に注力しマンパワー維持

○普通配当＋特別配当

前年度比では減収減益も、業績は高水準を維持

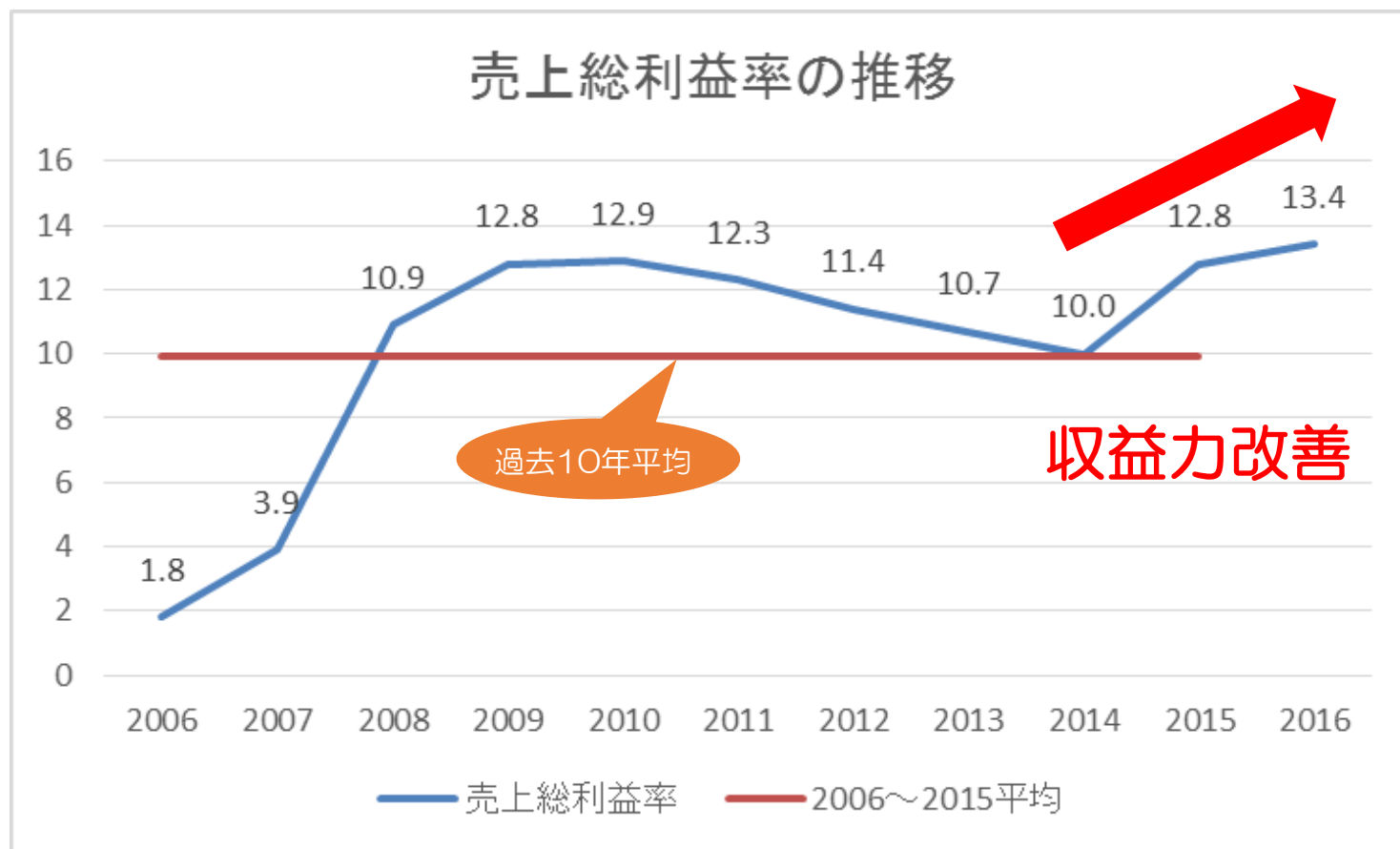
(単位:年度、百万円)



規模を追わず「質を高める」戦略

売上総利益率は過去10年で最高

(単位：年度、%)



個別項目

(囲み内はいずれも左が2015年度、右が2016年度)

○グループ会社の成長は堅実に推移

業績拡大 (対グループ外との取引分)	売上高	165億円	⇒	178億円
	売上総利益	33億円	⇒	36億円

※上記は連結業績から個別業績を差し引いた数値をグループ会社の業績として表している。

○採用活動に注力しマンパワー維持

連結人員	2,309人	⇒	2,339人
------	--------	---	--------

○普通配当＋特別配当

普通配当	18円	⇒	20円
特別配当			10円
合計			30円

(合計額は前年度と同様)

セグメント別トピック

○建築設備事業

将来のストックとなる大型物件を戦略的に受注
収益面における体質改善
繰越工事増加で売上・利益貢献は2017年度以降

○機械システム事業

ロボットと搬送設備を組合せた「ハイブリッド設備」案件増加
少子化に伴う社会の省力化ニーズに対応

○環境システム事業

受注が順調に推移し、業績回復に道すじ
廃棄物処理施設DBO(※)案件初受注が貢献

※DBO (Design Build Operate) とは設計・建設と運営・維持管理を民間事業者に一括発注するもので、公設民営の一つの方式

2017年度業績計画

指標	2016実績 (A)	2017当初計画 (Phase1計画値)	2017修正計画 (B)	差 (※) (B-A)
売上高	1,685 億円	1,900 億円	1,800 億円	+115 億円
売上総利益 (率)	225 億円 (13.4%)	230億円 (12.1%)	240億円 (13.3%)	+15 億円 (▲0. 1pt)
営業利益 (率)	60 億円 (3.6%)	70 億円 (3.7%)	70 億円 (3.9%)	+10 億円 (+0. 3pt)
経常利益 (率)	68 億円 (4.1%)	75 億円 (3.9%)	75 億円 (4.2%)	+7 億円 (+0. 1pt)

※表示金額の差引計算

- “Century 2025” 2年目は当初計画からは減収なるも対前年では増収増益の計画
- 手持ち工事は豊富 1,237億円（前年同期比16.3%増）
- 大型JOB売上により売上総利益率微減の見込み

以上